

ドライブレコーダー映像を消防活動に活用する新たなシステムを導入します － DRIVE RECORDER119 －

堺市では、トヨタ自動車株式会社と共同実証実験を行ってきた消防活動にドライブレコーダー（以下、ドラレコ）の映像を活用する全国初となるシステム「DRIVE RECORDER119（ドライブレコーダーいちいちきゅう）」（以下、システム）の運用を開始します。

1 運用開始日

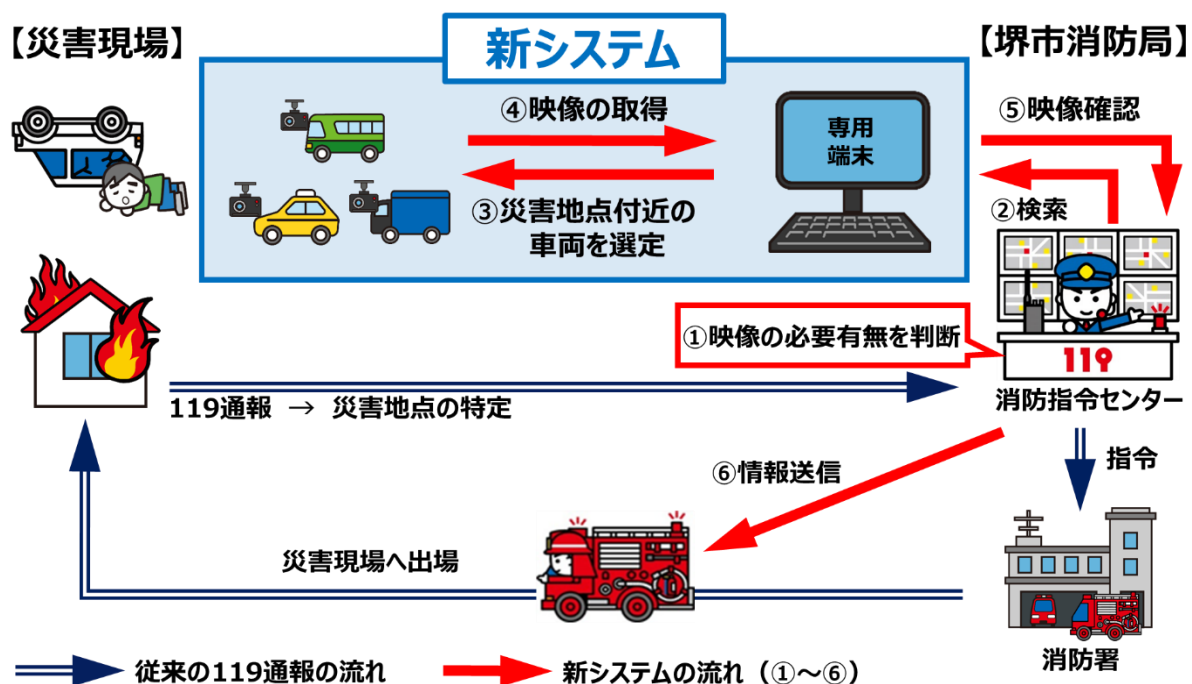
令和 7 年 4 月 1 日

2 概要

火災や交通事故等の緊急を要する災害現場において、119 番通報だけでは状況が分かりにくい場合、現場付近を走行する車両のドラレコの映像をシステムで閲覧し、迅速かつ適切な消防部隊の投入や経路選定等消防活動に活用します。

【対象地域】堺市消防局管内（堺市・高石市・大阪狭山市）及び消防指令業務の連携・協力を行っている和泉市消防本部管内

【運行台数】管内を走るバスやタクシー、トラックなど合計約 800 台



(システムのイメージ)

3 これまでの経緯

堺市とトヨタ自動車株式会社は、令和 5 年 10 月 25 日からシステムの共同実証実験を実施してきました。

共同実証実験の評価では、システムで閲覧した映像は、迅速かつ適切な消防部隊の投入や経路選定に繋がるなど消防活動に有益な情報で、市民の安全安心を守る有効なシステムであることが確認できたため、本格導入に至りました。

【実験期間】

令和 5 年 10 月 25 日～令和 7 年 3 月 31 日

【参加車両数等】

堺市消防局管内を走るバス（約 230 台）やタクシー（約 60 台）、トラック（約 110 台）等合計約 400 台

【定量評価】

(1) 集計期間：令和 5 年 12 月 1 日～令和 6 年 11 月 30 日

	件数	割合
救急（交通事故関係）	3,532	－
システム使用	594	17%
映像取得	243	41%
現場到着前に映像取得	198	81%
役に立った	165	83%

(2) 堺市による評価

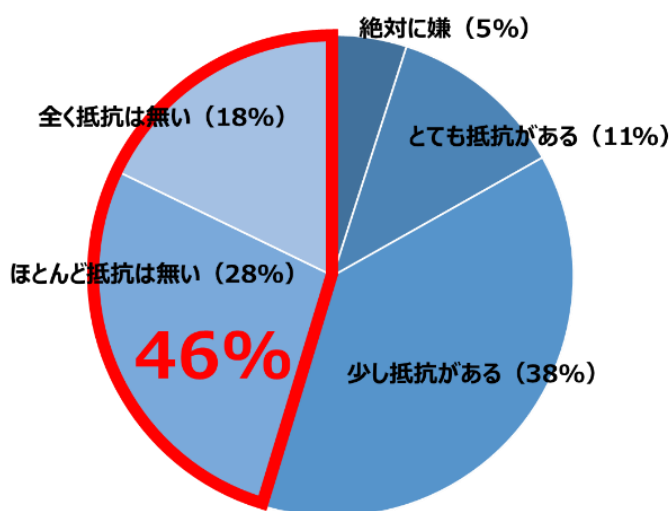
- ・119 番通報を受けた消防指令センターのオペレーターが、通報内容から映像を必要と判断した場合にシステムを使用し、その際に現場の映像が映っていたのは 4 割程度（※）でした。映像を取得できる車両台数が増えれば、その割合は更に増えてくると考えられます。
- ・今後ドラレコ設置台数の増加を図ることで、消防活動への有益性も更に高まるものと評価します。

【共同実証実験中の主な奏功事例】

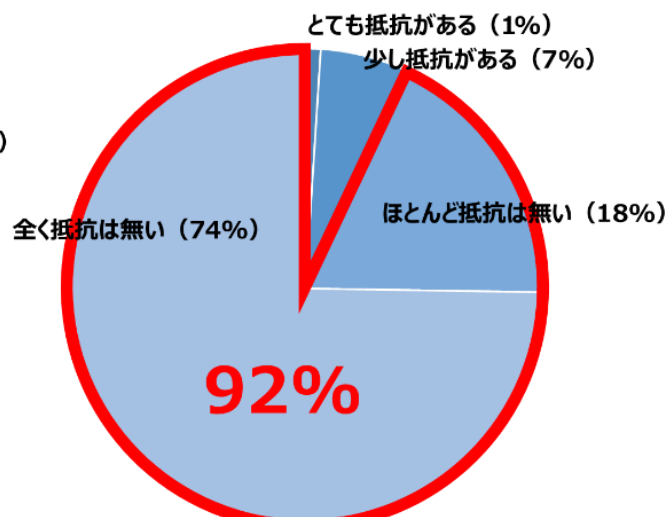
適正な部隊の投入及び傷病者の安全確保	
事例①	高速道路上での多重交通事故において、反対車線からのアプローチを考慮したが、ドラレコの映像から順行車線の通行可能が確認でき、二次災害のリスク軽減と過剰な部隊投入の防止に繋がった。
事例②	重症者が発生した交通事故において、ドラレコの映像から事故の程度を把握することができ、ドクターカーを即座に要請し、医師による医療行為を 15 分早めることに繋がった。
適正な部隊の投入及び現場到着時間の短縮	
事例③	幹線道路の交差点での乗用車 2 台の交通事故において、ドラレコの映像から現場活動の危険性を把握することができ、支援隊として消防隊を同時に出場させ、二次災害防止や現場到着時間の短縮に繋がった。

【トヨタが堺市民を対象に実施した調査結果】

事業目的・内容が社会（市民）に受け入れられるのかを確認するため、トヨタが堺市民を対象にアンケート及びヒアリング調査を実施した結果、ドラレコ映像の利用目的や使われ方、プライバシーの考え方、個人情報の取扱い方を伝えた場合、9 割以上の方が「全く抵抗はない」「ほとんど抵抗はない」と回答がありました。



＜利用目的を明確にしない場合＞



＜利用目的、プライバシーの考え方、個人情報の取扱い方を伝えた場合＞

問
い
合
わ
せ
先

担 当 課：消防局 警防部 通信指令課
電 話：072-238-6053
ファックス：072-223-6938